

15 農業農村整備事業 <公共>

【令和2年度予算概算要求額 397,752 (326,026) 百万円】

<対策のポイント>

農業の競争力強化のための農地の大区画化や汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の改修・統廃合等を推進します。

<政策目標>

- 担い手が利用する面積が全農地面積の8割となるよう農地集積を推進 [令和5年度まで]
- 基盤整備完了区域（水田）における作付面積（主食用米を除く）に占める高収益作物の割合（約2割 [平成27年度] → 約3割以上 [令和2年度まで]）
- 施設機能が安定している基幹的農業水利施設の割合（約5割以上 [令和2年度まで]）
- ハザードマップ作成等ソフト対策を実施した防災重点ため池の割合（約5割 [平成27年度] → 10割 [令和2年度まで]）

<事業の内容>

1. 担い手が活躍する強い農業基盤づくり

（農業競争力強化対策）

185,415 (129,678) 百万円

担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地中間管理機構との連携等により、農地の大区画化や汎用化・畑地化、畑地かんがい施設の整備等を実施します。また、パイプライン化やICT等の導入により、新たな農業水利システムを構築し、担い手の多様な水利用や水管理の省力化を推進します。

2. 老朽化した農業水利施設の長寿命化

（国土強靱化対策）

130,631 (122,398) 百万円

老朽化した農業水利施設について、点検・診断に基づき、補修・更新等を適時・的確に実施します。

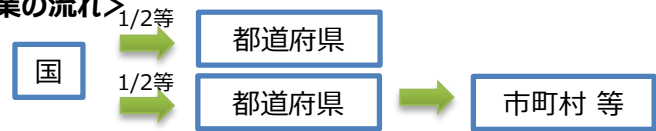
3. 安全・安心のための農村地域の防災・減災

（国土強靱化対策）

81,707 (73,950) 百万円

基幹的な農業水利施設やため池等の耐震対策、集中豪雨による農村地域の洪水被害防止対策等を実施します。

<事業の流れ>



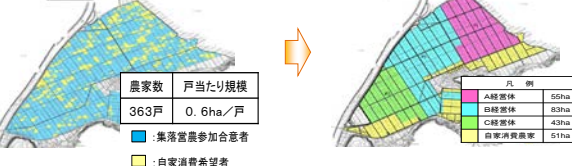
※事業実施主体が国の場合は、2/3等

<事業イメージ>

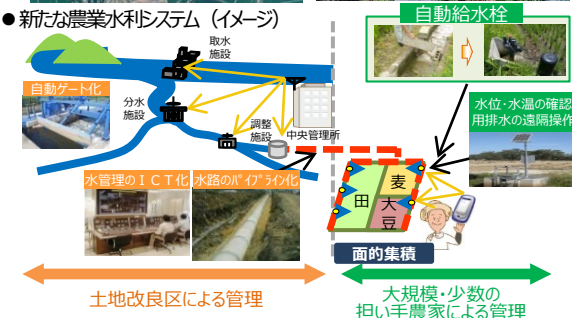
農業競争力強化対策

1. 担い手が活躍する強い農業基盤づくり

- 農地整備を通じた農地集積・集約化の例



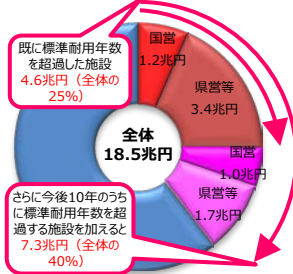
- 大区画化の例
- 汎用化の例



国土強靱化対策

2. 老朽化した農業水利施設の長寿命化

- 基幹的農業水利施設の耐用年数の超過状況



注) 基幹的農業水利施設(受益面積100ha以上の農業水利施設)の資産価値(再建設費ベース)

- 農業水利施設補修による長寿命化対策

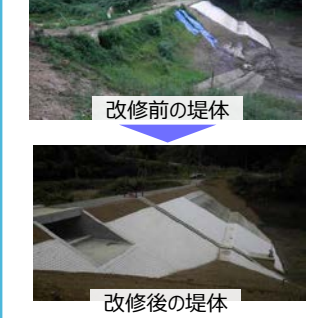


3. 安全・安心のための農村地域の防災・減災

- 施設の耐震化



- ため池の整備



【お問い合わせ先】農村振興局設計課 (03-3502-8695)